

受験番号 氏名

--	--

実技試験（鉛筆図面作成） 問題 1

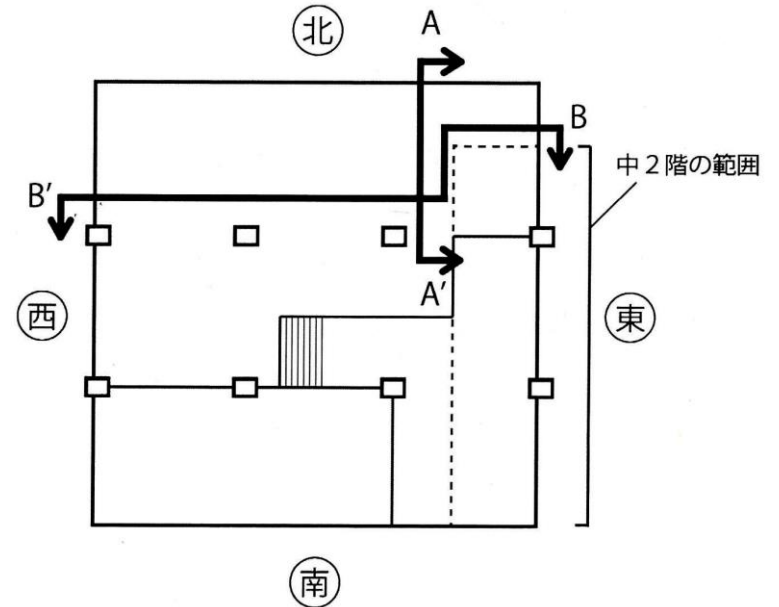
9月20日(水) 10:00-14:30

- 課題 1**
- ① A3方眼用紙に、大石膏室の東側立断面図を描く。
 - ② A3方眼用紙に、大石膏室の南側立断面図を描く。

1. 配布物

- ・ 課題用紙（本紙）
- ・ 提出用A3方眼用紙×2枚
- ・ 下書き用A3方眼用紙×2枚
- ・ 画板

※なお、配布物は終了後すべて回収します。



2. 図面作成の対象

試験会場である、大石膏室内の一部。建築物本体のほかにも、建具、手摺、照明器具を含む。縮尺1/100程度の図面を製図する場合を想定した時に省略すると考えられるものや、展示されている石膏像及び台座は含まない。

（試験会場：天野太郎設計 元芸大建築学科教授 1970年竣工）

3. 図面作成の内容

① 東側立断面図

東側立断面図の野帳をフリーハンドで作成する。A-A'位置（上図参照）の断面を描き、東壁面の立面を描き加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

② 南側立断面図

南側立断面図の野帳をフリーハンドで作成する。B-B'位置（上図参照）の断面を描き、南壁面の立面を描き加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

4. その他 注意事項

- ・ 寸法線も含めてフリーハンドで描くこと。定規の使用は不可とする。
- ・ 図面作成の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 立断面図作成のために、A-A' およびB-B' ライン付近に立ち入ってよいが、中2階への立入は禁止する。
- ・ 静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損することのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、提出用A3方眼用紙、下書き用A3方眼用紙、すべてに受験者の受験番号と氏名を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。
- ・ 発熱や頭痛など、体調が不良になった時には、すみやかに監督官に申し出て、指示を仰ぐこと。また、トイレを希望する場合も監督官に申し出ること。

受験番号

氏名

実技試験（鉛筆図面作成） 問題2

9月20日(火) 15:00-16:00

課題2

① A3方眼用紙に、与えた器物（屋根瓦）の立面図（正面と側面）を描き、実測に必要な寸法線を記入する。

1. 配布物

- ・ 課題用紙（本紙）
- ・ 提出用A3方眼用紙×1枚
- ・ 下書き用A3方眼用紙×1枚
- ・ 画板×1枚

※なお、配布物は終了後すべて回収します。

2. 図面作成の対象

各人に与えた器物（屋根瓦）の立面図（正面と側面）。与えた器物は寸法や形状に若干の違いがあるが、気にすることなく、経年劣化による汚れや傷などは無視してよい。縮尺は自由とするが、立面図（正面と側面）は高さを揃えて左右に並べて忠実に描き、A3方眼用紙1枚にレイアウトすること。

3. 図面作成の内容

対象器物（屋根瓦）の立面図（正面と側面）の野帳を、A3方眼用紙1枚に、フリーハンドで作成する。そして、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

4. その他 注意事項

- ・ 寸法線も含めてフリーハンドで描くこと。定規の使用は不可とする。
- ・ 図面作成の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損することのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、提出用A3方眼用紙、下書き用A3方眼用紙、すべてに受験者の受験番号と氏名を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。
- ・ 発熱や頭痛など、体調が不良になった時には、すみやかに監督官に申し出て、指示を仰ぐこと。また、トイレを希望する場合も監督官に申し出ること。

筆答試験(2)専門 問題及び解答用紙

問題Ⅰ 別紙1に写真で示した①から⑧の各建造物について、建造物の名称、建設年代、主な建築的特徴を下の枠内に記しなさい。
 なお、建設年代は「〇世紀」のような大まかな時期の表記でもよい。

番号	建造物の名称	建設年代	主 な 建 築 的 特 徴
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			

問題Ⅱ 日本の世界文化遺産20件から1件、重要伝統的建造物群保存地区126地区(集落・町並みの保存地区)から関西地方の保存地区1件をそれぞれ選び、その名称を記して各2行以内で説明しなさい。

- (1) 世界文化遺産 名称：
 説明：.....

- (2) 重要伝統的建造物群保存地区 名称：
 説明：.....

問題Ⅲ 別紙2には、大善寺本堂[国宝 山梨県 弘安9年(1286)]の立面図と梁間断面図を掲げてあります。図中に矢印で示した①から⑯の建築部材の名称を以下に記しなさい。

- ①：..... ②：..... ③：..... ④：..... ⑤：..... ⑥：..... ⑦：..... ⑧：.....
 ⑨：..... ⑩：..... ⑪：..... ⑫：..... ⑬：..... ⑭：..... ⑮：..... ⑯：.....

問題Ⅳ 以下の(1)～(6)から2語を選んでその番号を()に記し、それぞれ3行以内で説明しなさい。

- (1) 薬師寺東塔 (2) 中尊寺金色堂 (3) 流造 (4) 妻飾 (5) 本瓦葺 (6) 棧唐戸

- 番号() 説明：.....

- 番号() 説明：.....

問題Ⅴ 別紙3の英文は、1994年に奈良で行われたユネスコ主催の国際会議「世界文化遺産奈良コンファレンス」において採択された「奈良ドキュメント」の一部です。日本語でタイトルと全体の大意を記しなさい。なお英語辞書等の使用は認めない。

.....

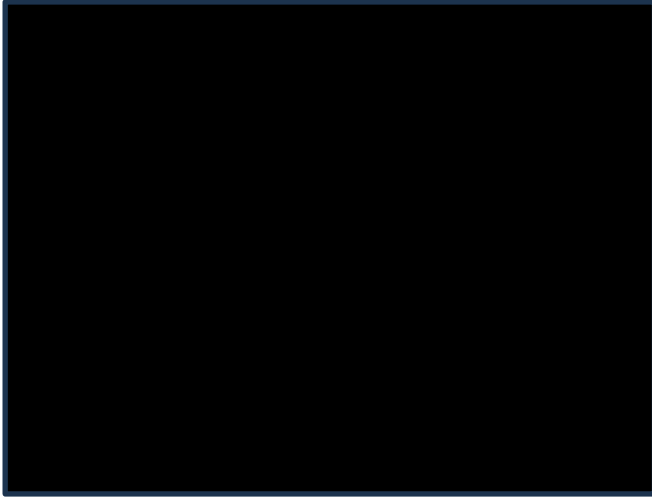
受験番号

氏 名

筆答試験（2） 別紙 1

問題 I 写真 ①～⑧

①



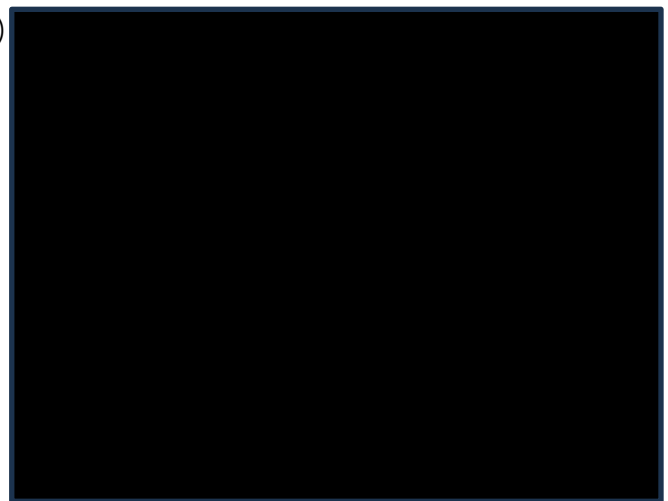
②



③



④



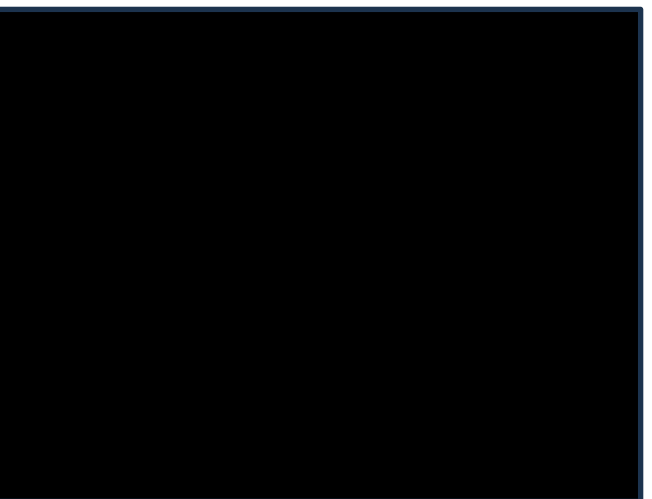
⑤



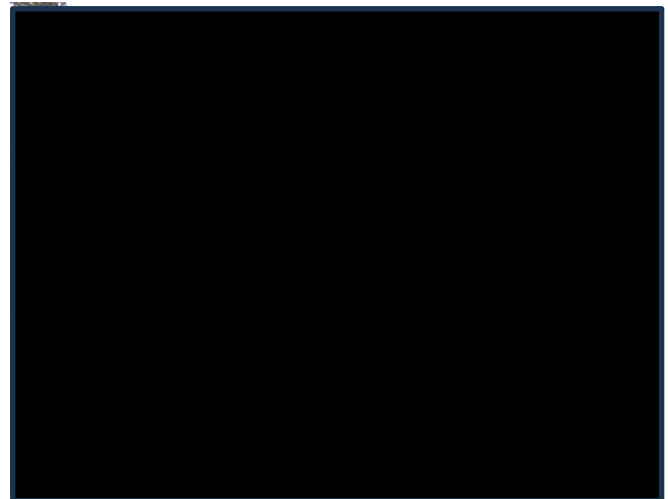
⑥



⑦



⑧

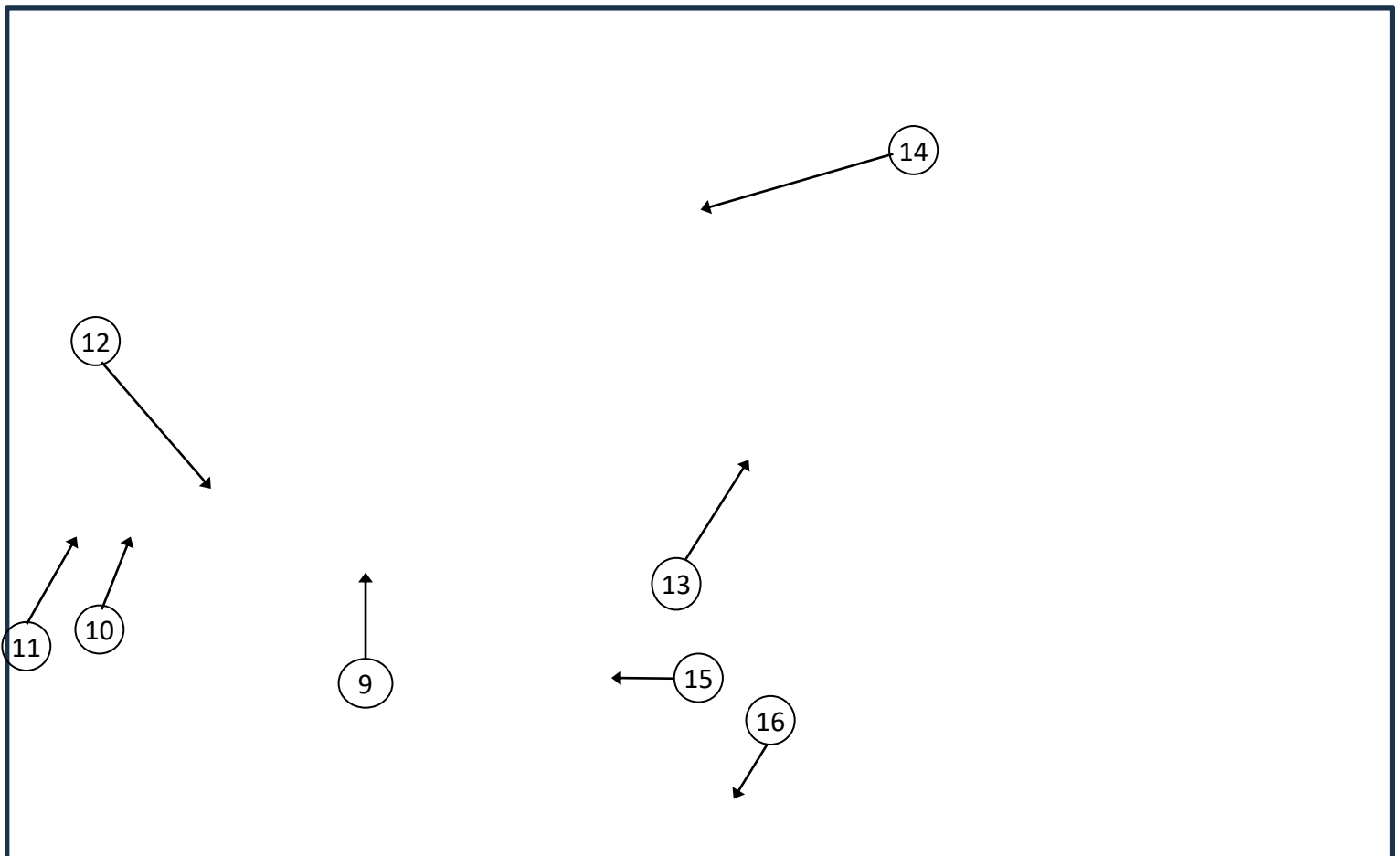
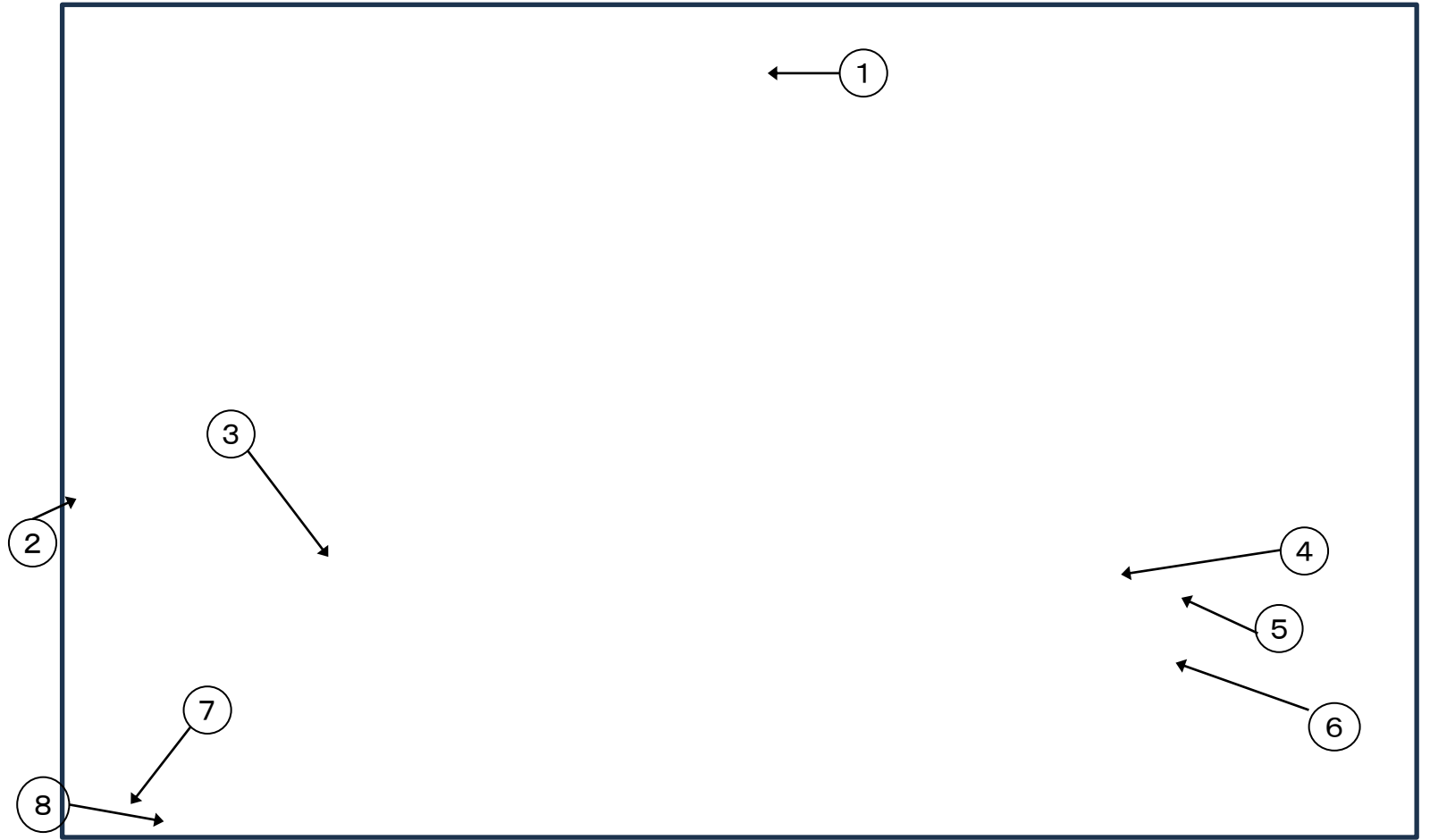


受験番号

氏名

筆答試験（2） 別紙2

問題III 図面



受験番号

氏 名

筆答試験(2) 別紙3

問題V 英文

Values and authenticity

9. Conservation of cultural heritage in all its forms and historical periods is rooted in the values attributed to the heritage. Our ability to understand these values depends, in part, on the degree to which information sources about these values may be understood as credible or truthful. Knowledge and understanding of these sources of information, in relation to original and subsequent characteristics of the cultural heritage, and their meaning, is a requisite basis for assessing all aspects of authenticity.

10. Authenticity, considered in this way and affirmed in the Charter of Venice, appears as the essential qualifying factor concerning values. The understanding of authenticity plays a fundamental role in all scientific studies of the cultural heritage, in conservation and restoration planning, as well as within the inscription procedures used for the World Heritage Convention and other cultural heritage inventories.